

## 地元の小学生を対象とした森林教室の取組について

東北森林管理局 三八上北森林管理署  
法量森林官 鈴木 晃輔  
八溪山・十和田首席森林官 児玉 俊一  
東北森林管理局 企画調整課 林政推進係長 一重 喬一郎

### 1. 課題を取り上げた背景

三八上北森林管理署十和田合同森林事務所は、青森県十和田市に所在し、管内には、十和田八幡平国立公園に指定されている十和田湖や八甲田周辺地域などの、景観の優れた区域が多くあります。

当森林事務所では、平成22年度から、地域の小学校3年生を対象に、管内にあるブナの巨木の見学を通じて、森林の水源涵養機能の大切さなどを実感し、郷土の森林に親しみの持てるような、森林教室を実施してきました。児童たちが「人と森林との関わり」をさらに深く学ぶにあたっては、林業や木材の利用・流通も重要であることから、平成25年度に、これまでの取組から一歩踏み込んだ「新たな森林教室」を企画し、小学校の先生と相談をして、6年生を対象にして実施することとしました。

### 2. 取組の経過

「新たな森林教室」のカリキュラムでは、立木の伐採から加工、利用するまでの一連の流れに関する事前講義を行い、伐採現場と製材工場、木造住宅と木工体験に分けた計2日間にわたる現場学習を開催することとしました。

また、併せて森林教室の参加前後でアンケート調査を実施し、学習効果を把握することとしました。



事前講義の様子

### 《現場学習の内容》

- ① 伐採現場（1日目） 間伐作業現場の見学・高性能林業機械の紹介
- ② 製材工場（1日目） 製材工程・製材品の見学
- ③ 木造住宅（2日目） モデルハウスの見学・説明
- ④ 木工体験（2日目） ペン立て作り・カンナかけ体験

※平成25年度は、悪天候の為、伐採現場と製材工場は屋内での講義とバス内での見学に変更しました。

### 3. 実行結果

アンケート調査では、森林教室参加前は4割程度の児童が「間伐」という言葉を知りませんでしたが、教室参加後は全ての児童が「間伐」について理解し、必要であると認識していました。

また児童からは、「森林や木材は、私たちが生きていくためにとても大切な物だと思った」、「木と私達の関係は思った以上にすごく関わりがあったことが分かった」などの感想があり、引率の先生からも「林業の正しい認識、森林保護と利用などを聞く良い機会にしていきたい」との声を聞くことが出来ました。

### 4. 考察

今回の森林教室では、「人と森林との関わり」や、循環可能な資源として木材を利用するための「森林のあり方」を伝えることが出来たと感じました。

今回の取組を通じて林業や木材産業の重要性を知ってもらい、将来の森林や林業、地域社会を担う人材の育成に少しでも役立つことを願い、今後もこの取組を継続したいと思います。



現場学習2日目 木工体験